

委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（A）】

実施内容報告書

受託団体名：

特定非営利活動法人国際交流の会とよなか（TIFA）

1. 事業名称・

TIFA「生活者としてのにほんご指導」プログラム

2. 事業の目的

公的機関や地域の市民との連携のもとに、地域に定住する外国人のための日本語教育を保証する。

3. 事業内容の概要

- ① 公的機関で受け入れ態勢のない夜間、親子ずれで参加できる時間等の態勢を整える。②出来るだけ早く・スムーズに地域での生活にとけ込めるよう必要な情報を含めた日本語クラスを実施。
- ② 外国人の日本語指導者を養成し、地域で活躍できる人材に育てる。指導者養成講座は「生活者のニーズに合った指導」が出来るような指導法を研修する機会を作る。④地域生活に役立つ教材を開発する。

4. 事業の実施体制について

・行政の責任者、国際交流協会の事務局長、地域市民団体、外国人組織のキーパーソン、日本語教育の専門家たちと本事業の責任者達が情報を交換し、問題解決をしながら、より有効な事業にしている。

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

| 1 | （名前） | （所属） |
|---|------------|--------------------------|
| 2 | 弘中 伸明 | 豊中市役所人権文化部人権政策室室長 |
| 3 | 金 相文 | とよなか国際交流協会事務局長 |
| 4 | 鵜川 まき | 国際交流市民ネット代表 |
| 5 | 岡田 勝美 | 大阪 YWCA 日本語教師・地域コーディネーター |
| 6 | 石墨 方子 | 日本語教室指導者 |
| 7 | 中田 峯代 | 日本語教室指導者 |
| 8 | 葛西 芙紗 | 国際交流の会とよなか理事長 |
| 9 | フレディ・フローレス | 豊中市外国人市民会議前代表者 |

【概要】

| 回 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 出席者 | 議題及び検討内容 |
|---|-------------------------------------|------|---------|---|--|
| 1 | 平成 27 年 4月21日(火) 13:30~15:30 | 2 時間 | カフェ・サパナ | 弘中伸明、金相文、鶴川まき、岡田勝美、フレディ・フローレス、石墨方子、中田峯代、葛西芙紗、由城順子、田坂百合子 | 1. 各委員から今年度の事業に対する要望を聞く 2. 今年度の事業計画の説明に対しての意見交換。 3. 夜間実施している日本語教室がうまく進められるよう、とよなか国際交流センターの終了時刻を交渉。 |
| 2 | 平成 27 年 8月 25日(火) 13:30~15:30 | 2 時間 | カフェ・サパナ | 弘中伸明、金相文、鶴川まき、岡田勝美、フレディ・フローレス、石墨方子、中田峯代、葛西芙紗、由城順子、田坂百合子 | 1、活動状況報告 2、秋から始める日本語ボランティア研修成講座計画の説明と意見交換。 3、教材作成の進行状況報告と要望・意見聴取。 |
| 3 | 平成 28 年 2月 9日(火) 13:30~15:30 | 2 時間 | カフェ・サパナ | 弘中伸明、金相文、鶴川まき、岡田勝美、フレディ・フローレス、石墨方子、中田峯代、葛西芙紗、由城順子 海野バティ、 | 1、今年度の日本語教室の実施状況と成果報告。 2、日本語ボランティア研修講座の実施報告。 3、作成教材内容について意見聴取。 |

6. 日本語教育の実施

(1) 活動名称

・TIFA ナイト日本語教室

(2) 目的・目標

昼間働いている日本語を学びたい外国人に学ぶ機会をつくり、出来るだけ早く地域社会の一員として活躍できるように育てる。

(3) 対象者

・昼間時間がなく夜間に勉強したい定住外国人。

(4) 開催時間数(回数)

・ 60 時間 (1・5 時間 × 全 40回)

(5) 使用した教材・リソース

文化庁カリキュラム案、教材例集、当会開発の「とよなかにほんご」、行政の案内書、学校・保育所 からのお知らせ、今年度作成中の教材

(6) 参加者の総数 46 人※延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 43 人

【出身・国籍別内訳】

| 中国 | 韓国 | ブラジル | ベトナム | ネパール | インドネシア | タイ | ペルー | フィリピン | 日本 |
|----|----|------|------|------|--------|----|-----|-------|----|
| 2 | 3 | 2 | 12 | 2 | 6 | 1 | 3 | 3 | 5 |

※その他の国籍と人数:

ナイジェリア・・・1 アメリカ・・・3 カンボジア・・・1 台湾・・・1 スリランカ・・・1

(7) 日本語教育の実施内容

| 回 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 受講者数 | 取組のテーマ | 授業概要 | 指導者名 | 補助者名 |
|----|------------------------------------|--------|--------------------------|------|---------------------------|---|--------------|-------------------------|
| 1 | 平成 27 年 4月14日(火) 19:30~21:00 | 1.5 時間 | とよなか 国際交 流 センター | 17 | 各学習者の 生活に必要な日本語の 勉強 | 学習者のレベルとニーズに合わせて 指導者の下、補助者・12名のボラン ティアが対応(全回) *あいさつの仕方*市民検診の受け 方*時間の表現*話題記事の読解 *町でよくみる漢字・・など | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 2 | 平成 27 年 4月21日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 16 | 学習者の希 望テーマ | *使役・受け身の勉強*分の組み立 て*語彙・文型*買い物*みんなのにほ んご*カタカナ・自己紹介・・など | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 3 | 平成 27 年 4月28日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 14 | 同上 | *買い物・引越越し*文章のルール *ゴールデンウィークの計画*読解練 習 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 4 | 平成 27 年 5月12日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 20 | 同上 | *交通機関の利用*わけだ・とおりの 説明*ビジネス会話の練習・・など | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 5 | 平成 27 年 5月19日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 19 | 同上 | *会話・漢字練習*お知らせ・通知を 読む*天皇制について*会話文と各 分の違い**読解の練習・・など | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 6 | 平成 27 年 5月26日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | *自己紹介の仕方*会話・漢字の練 習*にほんご春夏秋冬を使って | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 7 | 平成 27 年 6月2日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | *料理*漢字の勉強*助詞の勉強 *「における」「にたいする」*自己紹 介の練習*語彙の勉強・・など | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 8 | 平成 27 年 6月9日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | *病気のときの対応*みんなの日本語 *自己紹介の練習*語彙の勉強・・ など | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 9 | 平成 27 年 6月16日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | *語彙 *~のうえの使い方*敬 語*読解*日本の土産物について | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 10 | 平成 27 年 6月23日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 21 | 同上 | *漢字練習*料理法*「禁じ得ない」 の理解*読解練習*みんなの日 本語 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 11 | 平成 27 年 6月30日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 20 | 同上 | みんなの日本語*漢字*会話 *つつ、ながらの説明*医療情報 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 12 | 平成 27 年 7月7日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | *ごみの出し方*会話:趣味につい て*読解練習*「ないことはない」「な いこともない」について・・など | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 13 | 平成 27 年 7月14日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 15 | 同上 | *ごみの出し方*みんなの日本語* 漢字の練習*発表会の準備*自己 紹介の仕方*日本に来ての印象 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 14 | 平成 27 年 7月28日(火) 19:30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | *仕事先の事を話す*フリートーキン グ(親睦会) | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |

| | | | | | | | | |
|----|--------------------------------------|----|----|----|----|--|--------------|-------------------------|
| 15 | 平成 27 年 9月1日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 16 | 同上 | 発表会の練習 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 16 | 平成 27 年 9月6日(日) 10::30~12:00 | 同上 | 同上 | 14 | 同上 | 発表会 * 自己紹介 * 日本で印象に残ったこと を公表。* 経験談 * 伝言ゲーム | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 17 | 平成 27 年 9月8日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 23 | 同上 | * ごみ問題 * 現代生活日本語カタログ にそって*フリートーク * 発表 会のアンケートを書 * 敬語 * 読解練習 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 18 | 平成 27 年 9月15日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 21 | 同上 | * 保育料支払法 * みんなの日本語 * と、ば、たら、ならの説明 * 運動会 について | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 19 | 平成 27 年 9月29日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | * ごみ問題 * 5W1Hをききして言う * 増加と上昇 * 仕事で使う漢字 * ~ ていたの文型 * 漢字練習 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 20 | 平成 27 年 10月6日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 23 | 同上 | * 読解 * 料理 * 語彙 * 漱石の「ここ ろ」* 体の部位の名称・病気について * 高知への道案内 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 21 | 平成 27 年 10月13日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 24 | 同上 | * 市役所からの手紙を読む * ~なが らの練習 * 語彙の勉強 * みんなの日 本語 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 22 | 平成 27 年 10月20日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 25 | 同上 | * 読解 * 料理 * 語彙 * 漱石の「ここ ろ」* 病気について * 観光地の説明・ 案内 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 23 | 平成 27 年 10月27日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 23 | 同上 | * ごみの出し方 * みんなの日本語 * 漢字の練習 * 自己紹介の仕方 * 日 本に来て困ったこと | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 24 | 平成 27 年 11月10日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | * 保育園からの便り、スマホの使用* みんなの日本語*就活の相談 * 5W の短文作り * 漢字の練習 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 25 | 平成 27 年 11月17日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 22 | 同上 | * 研修報告書の添削 * 数の数え方・ 助数詞 * 様子を表す言葉 * 問題集・ 長文読解 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 26 | 平成 27 年 11月24日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | * みんなの日本語 * N2 読解 * 新聞 記事を読む * 自己紹介の練習*助詞 の説明 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 27 | 平成 27 年 12月1日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 16 | 同上 | *新聞記事を読む * 社内報告書添削 * みんなの日本語 * テレビでわから なかったこと * 会社での会話の解説 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 28 | 平成 27 年 12月8日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | * 全員で食事をしながら自由会話 * 一人づつ近況報告。 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 29 | 平成 27 年 12月15日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | * 放課後子どもクラブ入会方法 * 年 賀状・正月休みについて * 文の組み 立て * 割引、おつりの説明 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |

| | | | | | | | | |
|----|--------------------------------------|----|----|----|----|---|--------------|-------------------------|
| 30 | 平成 27 年 12月22日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | *正月の過ごし方*日本の年中行事 について*年賀状の書き方**日本の 小学校について | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 31 | 平成 28年 1月12日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | *正月休みに体験したこと*みんな の日本語*練習問題*近所の問題* ベトナムの文化 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 32 | 平成 28年 1月19日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | *通関士テキスト*5Wの短文作り* 語彙「はなはだ」の意味*社内メール 添削*読解*会社での文書や会話 の表現について*川柳 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 33 | 平成 28年 1月26日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | *読解それとも、やっと、だから、せめ て・などの説明*道路標識*会話と 書き言葉*文法説明フリートーキング | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 34 | 平成 28年 2月2日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 17 | 同上 | *新聞を読む**受け身・使役の勉 強*命令形*ので、から、ため、よう に、よなの説明*N1 読解*自己紹 介 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 35 | 平成 28年 2月9日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | *お知らせの記事を読む*みんなの 日本語*~わけがない・わけではな い・しかない**の説明*漢字の練習 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 36 | 平成 28年 2月16日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 16 | 同上 | *新聞を読む*漢字の読み方*~ わけはない、~わけではない、~しか ない等の説明 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 37 | 平成 28年 2月23日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 19 | 同上 | *漢字の練習*みんなの日本語、*日 本の昔話*職場のことば、普通の言 葉* | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 38 | 平成 28年 3月1日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 18 | 同上 | *受動態*漢字の練習*みんなの 日本語*入学・入園*新聞を読む | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 39 | 平成 28年 3月8日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 20 | 同上 | *新聞記事を読む*みんなの日本語 *テレビでわからなかったこと*会社 での会話の解説 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |
| 40 | 平成 28年 3月15日(火) 19::30~21:00 | 同上 | 同上 | 21 | 同上 | *ごみの出し方*みんなの日本語* 漢字の練習*自己紹介の仕方*子 どもの入学準備 | 中田峯代 石墨方子 | 岩崎 悦郎 上田万里子 森下 君江 |

8) 特徴的な活動風景

取組事例①

【第25回 27年11月17日】

* 研修報告書の添削 * 数の数え方・助数詞 * 様子を表す言葉 * 問題集・長文読解 * テキスト「日本語こんに
ちは」を使って電話の会話を勉強。など学習者のレベルとニーズに合わせて個別対応。ベトナム人が多いので、ベ
トナムの行事 * ベトナムの教師の日についてみんなに紹介した。



取組事例②

【第32回 28年1月19日】

* 通関士テキスト * 5W の短文作り * 語彙「はなはだ」の意味 * 社内メール添削 * 読海 * 会社での文書や会話の表現について
* 川柳などそれぞれ勉強した後、みんなで近況報告などフリートーキングで交流しました。



6A. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 T I F A生活者としての日本語指導プログラム
日本語ボランティア実践研修 A
- (2) 目的・目標 活動中の日本語ボランティア、日本語ボランティアを目指す人たちが、生活者としての日本語指導に必要な事項を学ぶ。
- (3) 対象者 日本語指導ボランティア及びボランティア希望者
- (4) 開催時間数(回数)
・ 16 時間 (2 時間 × 全 8 回)
- (5) 使用した教材・リソース
各講師が準備した資料
- (6) 受講者の総数 40 人 ※延べ人数ではなく、受講した人数を記載

【出身・国籍別内訳】

| 中国 | 韓国 | ブラジル | ベトナム | ネパール | インドネシア | タイ | ペルー | フィリピン | 日本 |
|----|----|------|------|------|--------|----|-----|-------|----|
| 1 | | | | 1 | | | | | 38 |

※その他の国籍と人数：なし

(2) 講座名称 T I F A生活者としての日本語指導プログラム
日本語ボランティア実践研修

(2) 目的・目標 活動中の日本語ボランティア、日本語ボランティアを目指す人たちが、生活者としての日本語指導に必要な事項を学ぶ。

(3) 対象者 日本語指導ボランティア及びボランティア希望者、

(4) 開催時間数(回数)

・ 16 時間 (2 時間× 全 8 回)

(5) 使用した教材・リソース

各講師が準備した資料・

(6) 受講者の総数 38 人 ※延べ人数ではなく、受講した人数を記載

【出身・国籍別内訳】

| 中国 | 韓国 | ブラジル | ベトナム | ネパール | インドネシア | タイ | ペルー | フィリピン | 日本 |
|----|----|------|------|------|--------|----|-----|-------|----|
| 1 | | | | 1 | | | | | 38 |

※その他の国籍と人数:

(7) 養成・研修の具体的内容

| 回 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 受講者数 | 研修のテーマ | 研修概要 | 講師名 | 補助者名 |
|---|------------------------------------|------|-----------------|------|--------------------------------------|---|-------|----------------|
| 1 | 平成 27 年 10月6日(火) 10:00-12:00 | 2 時間 | すてっぷ セミナー室 | 25人 | 文化庁「カリキュラム案」の活用について | 「カリキュラム案」と「教材例集」の紹介、活用方法とポイント。5点セットの入手方法など | 岡田 勝美 | 葛西 芙紗 由城 順子 |
| 2 | 10月13日 (火)10:00 ~12:00 | 2 時間 | すてっぷ 視聴覚室 | 25人 | 「日本語能力評価」「指導力評価」の活用 | 学習者の「日本語能力評価」と「ポートフォリオ」について、「毎回の学習の記録」、「日本語学習記録簿」を使う・・・参加者から経験例も出された。 | 岡田 勝美 | 葛西 芙紗 由城 順子 |
| 3 | 10月20日 (火)10:00 ~12:00 | 2 時間 | すてっぷ 視聴覚室 | 35人 | 地域日本語教室でたのしく読み書きの活動を進めるには」 | 1、地域日本語教室における読み書き活動の目的 2、「読み」に導くためのしかけ 3、読む活動の進め方 4、書く活動を進める・・ | 澤田幸子 | 葛西 芙紗 由城 順子 |
| 4 | 11月10日 (火)13:30 ~15:30 | 2 時間 | すてっぷ 視聴覚室 | 34人 | 「日本語支援の傾向と対策 --- 日本語指導の悩みを共有&解決しよう！」 | 地域の日本語クラスのボランティアが抱えている悩みや疑問に答えて、対話の中で日本語力を上げていく活動のあり方 | 安田 乙世 | 葛西 芙紗 由城 順子 |
| 5 | 11月17日 (火)13:30 ~15:30 | 2 時間 | すてっぷ 視聴覚室 | 35人 | 漢字学習支援～楽しく、楽に、続けられる学習を考える～ | 1、スタートをうまく切る 2、負担が大きくない工夫 3、「書く」助け、「覚える」助け4、学習した漢字を整理して、さらなる学習への道具とする・・・体系化 | 御子神慶子 | 葛西 芙紗 由城 順子 |
| 6 | 11月24日 (火)13:30~ 15:30 | 2 時間 | すてっぷ 視聴覚室 | 38人 | 生活者としての外国人学習者を対象とした、日本語授業の実践報告 | 自然習得から日常会話程度の能力は習得できても、読み書き能力を身につけるのは難しい。「作文指導」による習得実践例を紹介。 | 金月由紀子 | 葛西 芙紗 由城 順子 |
| 7 | 12月1日(火) 13:30~15: 30 | 2 時間 | すてっぷ 視聴覚室 | 35人 | 自己表現活動中心の基礎日本語教育の実践 — NEJ の授業の実践 — | 先生が開発された自己表現中心の教科書(NEJ)を使つての実際を講習。文型から教えるのではなく、「NEJ」VOL.1 VOL.2を使い、学習者が「私のこと」を話せるようになり、初級日本語文型は、全てカバーできる。 | 西口 光一 | 葛西 芙紗 由城 順子 |
| 8 | 12月8日(火) 13:30~ 15:30 | 2 時間 | とよなか国際交流センター2AB | 36人 | 「外国人児童に対する日本語指導の方法」 | 学校教育の中で不十分な外国人児童への日本語指導を生活者としての日本語指導ボランティアでもカバーしなければならない。教え方、指導のポイントを学ぶ。 | 池上智恵子 | 葛西 芙紗 由城 順子 |

(8)

取組事例①

【第6回 27年11月24日】

日常会話程度は習得できるため、見逃されがちであるが、会話だけでなく読み書き能力を身につける指導が必要。お便り通信、カルタづくり、簡単な日記をつけるなど、書く機会を作り、「作文指導」による習得実践例を紹介。



取組事例②

【第8回 27年12月8日】

近年日本の小学校・中学校へ入ってくる外国人児童が増えているが、学校現場での対応が充分できていない。日常会話はすぐになれるので、教師側は、教科も理解出来ているとみなされるが、教科を理解できる学習言語の指導が必要。このような指導を「生活者としての日本語指導ボランティア」もカバーしなければならないケースが出てくるのは必定なので、教え方、指導のポイントを学ぶ。



(9) 目標の達成状況・成果

日本語学校で働いた経験のあるボランティアから、「生活者としての日本語」の視点が大切なことを学べて大変収穫だったという感想を聞いた。

生活に密着した日本語学習に重点を置いた指導者研修は、全般に好評で、もっと続けてほしいという意見が多かった。

(10) 今後の改善点について

講座内容は大変好評であったが、地域で活動している日本語ボランティアの受講希望者が多く、会場の都合で制限しなければならないことがあった。今後はボランティアの要望に応じて、内容・会場などを考え、より多くの希望者を受け入れられるプログラムにする必要がある。

6 日本語教育を行う人材の養成・研修 B の実施

(1) 講座名称 日本語指導者(外国人)養成講座

・

(2) 目的・目標

日本語ができるようになった外国人の活躍の場をつくる。母国から来た学習者の指導者として活躍できるようにする。

(3) 対象者 ある程度日本語能力を身につけた外国人

・

(4) 開催時間数(回数)

・ 20 時間 (2 時間 × 全 10 回)

(5) 使用した教材・リソース

当会が作成したパワーポイント教材・ みんなの日本語、日本語春夏秋冬 など

(6) 受講者の総数 13 人 ※延べ人数ではなく、受講した人数を記載

【出身・国籍別内訳】

| 中国 | 韓国 | ブラジル | ベトナム | ネパール | インドネシア | タイ | ペルー | フィリピン | 日本 |
|----|----|------|------|------|--------|----|-----|-------|----|
| 1 | 1 | | 1 | 3 | 3 | | | | 3 |

※その他の国籍と人数:セネガル 1

(7) 養成・研修の具体的内容

| 回 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 受講者数 | 研修のテーマ | 研修概要 | 講師名 | 補助者名 |
|---|------------------------------------|------|--------------|------|-------------------|---|------|---------------|
| 1 | 平成 27 年 5月12日(火) 10:00~12:00 | 2 時間 | とよなか国際交流センター | 8人 | ネパール人の指導法 | 来たばかりの人に、あいさつなど簡単な会話を教える。 | 由城順子 | 葛西美紗 田坂百合子 |
| 2 | 5月19日(火) 10:00~12:00 | 2 時間 | とよなか国際交流センター | 8人 | ネパール人の指導法 | ネパールのパティさんとインドネシアのリディアさんが指導者となって母国の人を教えるのを補助しながら指導。 | 由城順子 | 葛西美紗 田坂百合子 |
| 3 | 5月26日(火) 10:00~12:00 | 2 時間 | とよなか国際交流センター | 9人 | ネパールとインドネシア人の指導法 | ネパールのパティさんとインドネシアのイラさんが指導者となって母国の人を教えるのを補助しながら指導。 | 由城順子 | 葛西美紗 田坂百合子 |
| 4 | 6月2日(火) 10:00~12:00 | 2 時間 | とよなか国際交流センター | 9人 | ネパールとインドネシア人の指導実習 | 自国の人ではない学習者をネパール人とインドネシア人が指導実習 | 由城順子 | 葛西美紗 |
| 5 | 6月9日(火) 10:00~12:00 | 2 時間 | とよなか国際交流センター | 8人 | ネパールとインドネシア人の指導実習 | 当会開発のパワーポイント教材を使っの指導実習 | 由城順子 | 葛西美紗 |
| 6 | 6月16日(火) 10:00~12:00 | 2 時間 | とよなか国際交流センター | 9人 | ネパールとインドネシア人の指導実習 | 当会開発のパワーポイント教材を使っの指導実習 | 由城順子 | 葛西美紗 田坂百合子 |

| | | | | | | | | |
|----|-------------------------|-----|--------------|-----|-------------------|-------------------------|------|---------------|
| 7 | 6月23日(火) 10:00~12:00 | 2時間 | とよなか国際交流センター | 10人 | ネパールとインドネシア人の指導実習 | 当会開発のパワーポイント教材を使つての指導実習 | 由城順子 | 葛西美紗 田坂百合子 |
| 8 | 6月30日(火) 10:00~12:00 | 2時間 | とよなか国際交流センター | 10人 | ネパールとインドネシア人の指導実習 | 当会開発のパワーポイント教材を使つての指導実習 | 由城順子 | 葛西美紗 田坂百合子 |
| 9 | 7月7日(火) 10:00~12:00 | 2時間 | サパナ | 8人 | ネパールとインドネシア人の指導実習 | 当会開発のパワーポイント教材を使つての指導実習 | 由城順子 | 葛西美紗 |
| 10 | 7月14日(火) 10:00~12:00 | 2時間 | サパナ | 6人 | ネパールとインドネシア人の指導実習 | 当会開発のパワーポイント教材を使つての指導実習 | 由城順子 | 葛西美紗 |

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

【第1回 27年5月12日】

ネパール人の海野バティが指導者になって、来日間もない学習者のシタさんの指導をし、指導者の由城順子が横について、足りない所を補助。日常会話程度はできるインドネシアのディディさんの指導は日本語検定1級を取得しているラティさんが指導。子供が小学校に入ったので、学校の行事・遠足についての文章を読み、小学校での行事などについても話した。この補助に葛西がついた。



組事例②

【第4回 27年5月26日】

ネパールのバティさんは当会開発のパワーポイント教材をつかってネパール人の指導。インドネシアのイラさんは同じインドネシア人ディディさんの指導。彼女は子供を育てているので子どもの学校行事について説明。由城、葛西は彼女たちの教え方の不足を補助とパワーポイントの要領・学校行事・持つていくもの等の説明不足を補助した。



(9) 目標の達成状況・成果

外国人の日本語指導者養成でそだてた、海野バティ、イラ、ラティは、母国から来日する後輩の指導者として、日本語だけでなく、来日間もない母国の子どもの通う学校へ補助・通訳者として活躍し、日本語で、小・中学校への国際理解授業の講師として活躍できるようになった。

(10) 今後の改善点について

日本語能力がついてきた学習者を、つぎのステップへ送り出すことが大切なので、活躍の場をもっと開拓する必要がある。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1)教材名称 くらしのにほんご～豊中・池田

(2)対象

豊中・池田及び周辺に住みはじめた、ひらがなが読める程度以上の定住外国人
日本語教室に来ている、ひらがなを学んだあとの学習者。

豊中・池田市役所の外国人対応窓口に来た、必要とする定住外国人。

大阪大学国際交流会館に住む家族

(3) 目的・目標

豊中・池田方面に住みはじめた定住外国人が、この冊子を活用して、日本語クラスで、地域のの人たちと共に、よりスムーズに生活になじめるようにする。

(4)構成（総ページ数： 83 ページ）

- I. 市役所へ行く
- II. 日本での生活
- III. 緊急のとき
- IV. 生活情報
- V. お役立ち情報

・

(5)教材の具体的な活用方法

地域の日本語教室で教材として使用

市役所の外国人相談窓口・外国人が在住する宿舎などにおいて、必要な人に渡す。

当会が支援している定住外国人へわたし、活用の手伝いもする。

(6)具体的な活用例

地域の日本語教室で学習者が必要としている情報を、ボランティアと一緒に読み、より快適な生活ができるようにする。 ・

(7)成果物のリンク先

当会のホームページ <http://tifa-toyonaka.org/>

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

豊中市、とよなか国際交流センター等公的機関や地域の市民との連携のもとに、地域に定住する外国人のための日本語教育を保証する。豊中市の①生活ガイドブック、②諸施設利用案内、③地域住民からの要望を入れて、来日間もない人から、2・3年生活している人程度まで、文書を理解し手続きが出来るように、そして地域にとけ込みやすくするための資料上記3点を冊子にまとめ、教室で、教材として活用する。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

日本語教室は、各学習者のニーズに合わせた指導を続け、必要とする人達の受け皿として学習者も増え、アンケートでもほとんどが満足している様子。(80%以上が満足)

指導者養成講座は、好評(アンケート結果参考)で、ボランティアのために役に立った。

教材作成は、途中の資料は部分的には、教室で活用し学習者の要望もいれたが、この冊子の成果は来年度に期待している。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

指導者養成講座の第1回目と2回目に「標準的なカリキュラム案」の解説と活用について学び、話しあったので、地域日本語教室でも活用している。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

・3回の運営委員会、問題がある時は逐次連絡、協力しあって活動を進めた。
特に教材作成では、その都度アドバイスを求め、原案はチェックを受けた。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・当会のホームページで、各国の先輩・リーダーたちを通して発信してきた。
・地域の日本語教室ボランティア・学習者に事業を広報し、連携して実施した。

(6) 改善点、今後の課題について

現在注目されている指導者を近隣から選んでほしい、日本語ボランティアの人達の力量アップのための研修は、大変好評で、もっと研修したい旨の要望が多かったので、今後も続けていく予定。

(7) その他参考資料